



みかわっ子だより

令和7年6月24日（火）

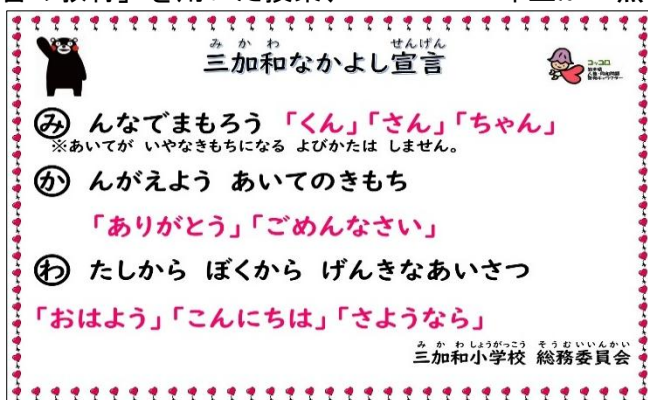
第3号

文責：福山 尚美

6月「人権旬間」 ～心のきずなを深める月間～

6月は、16日（月）から27日（金）まで人権旬間です。子供たちが安心して居心地のよい学校生活を送れるように人権教育の視点から指導・支援を強化して行う取組です。具体的な内容は、なかよしアンケートをもとにした教育相談、人権学習、総務委員会による「なかよし宣言キャンペーン」、心のきずなを深める月間の標語・ポスター制作などです。この取組を通して自分自身の行動を振り返り、身の回りの人権について考えていきます。先日の人権集会では、総務委員会の子供たちが「なかよし宣言」を発表しました。また、7月の授業参観では、2・4・6年生が「人権学習の教材」を用いた授業、1・3・5年生が「熊本の心」を活用した授業を行います。この機会に

保護者の皆様と一緒に人権について考えていければと思います。ご来校をお待ちしています。



人権集会における総務委員会の発表

「身近なところから環境問題に目を向けよう！」

4年生は、総合的な学習の時間に、環境問題について社会科の単元「ごみはどこへ」と関連させながら学んでいきます。先日、熊本県の環境立県環境課の西さんから、熊本県の環境について教えていただく機会がありました。まず、熊本県には3つの海が隣接しており、「ハクセンシオマネキ」や「ムツゴロウ」など、23の固有種がいることを学びました。実際に写真を見せていただき、子ども達も生き物に興味をもったようです。次に、熊本県には4つの一級河川がありますが、阿蘇山で降った雨が地下水となり、熊本市まで届くのに20年ぐらいかかること、そして、その水を私たちが今使用していることを聞き、とても驚いていました。その後、生活で使用する物（味噌や醤油、洗剤を水で溶かした液と十町川の水、学校の水道水）がどれくらい水を汚してしまうのかを確かめるためにパックテストを行いました。検査カードの色と見比べて、「学校の水道水や十町川の水がきれいでした。」というつぶやきが聞こえてきました。4年生は、11月に見学旅行でごみ処理場に行って、自分たちの出すごみがどのように処理されているのかを見学する予定です。今回の学習から、環境問題を解決するためには自分たちの生活をまず見直すことが大切だと実感していたようです。



3年生の理科の学習で、蝶の観察がありました。はじめは、虫を少し怖がっていた女の子たちも幼虫が触れるようになると、怖さも薄らぎ可愛がってくれるようになりました。最後までお世話をして、さなぎが羽化したときはとても感動していました。蝶は元気よく子供たちの手から羽ばたいて飛んでいきました。